

市民のみなさんへ

庄原市総領支所

## 行政文書の発行について

8月5日付けの行政文書を次のとおり発行します。

## ★ 回覧文書

表 題	備 考	担 当 課 等
令和4年度庄原市職員採用試験《後期》のお知らせ		総務部 総務課
マイナンバーカード取得申請サポートの実施について		企画振興部 企画課
環境しょうばら		環境建設部 環境政策課
令和5年度鳥獣被害防止総合対策交付金事業の要望調査の実施について	表面①	企画振興部 林業振興課
なるほど！ナットク！健康講座の開催について	裏面①	生活福祉部 保健医療課
後期太極舞&ヨガ教室について	表面②	教育部 西城教育室
後期幼児スイミング教室開催について	裏面②	
田園文化センターだより		田園文化センター
学校だより		総領中学校
校長便り No.4, No.5		
花だより		
広報 総領		庄原警察署 総領駐在所

## ★ 各戸配布

表 題	備 考	担 当 課 等
広報しょうばら8月号		総務部 行政管理課

&lt;行政文書のお問い合わせ先&gt;

〒729-3703

庄原市総領町下領家280番地1

庄原市総領支所総務室

電話番号：0824-88-2111

FAX番号：0824-88-2978

メールアドレス：soumu-sou@city.shobara.lg.jp





## 色んなことが変わっていく

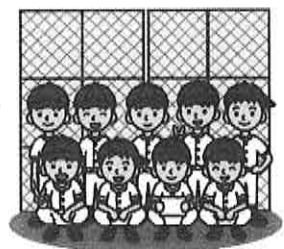
7月19日（火）の新聞に「小中生10年間で100万人減」という大きな見出しがありました。続けて、「児童生徒が極端に少ない小規模校は、多数が参加する部活動ができないなど、学習機会の確保が課題で、自治体は工夫や発想の転換で豊かな学びを提供することが求められる。」とあります。

私が中学（福山市）の頃、クラスは各学年7か8クラス。所属していた野球部は3年間を通じて、常時120人だったと記憶しています。今、母校の野球部は20人もいません。

他方、6月6日（月）には「運動部活動の地域移行に関する検討会議」から室伏スポーツ庁長官に、提言が渡されました。この中には、昭和61年の中学生数が約589万人いたのに対し、令和3年では約296万人に減少していますが、部活動の数は全国で、あまり変化していないという状況が示されています。つまり、部活動の小規模化が全国的に広がり、地域によっては単独の部活動では大会に参加できないケースが出てきていると。中学校では生徒たちの健全な育成を支援し、個性や能力を伸長するために、教員がほとんどボランティアとして指導をしてきましたが、部活動の指導は教員の業務ではないとの考えもあります。このような状況を踏まえて打ち出されてきたのが、運動部活動の地域移行で、令和5年度から令和7年度までの3ヶ年を改革集中期間として、段階的に土日の部活動をクラブチームや地域の活動に移行していくことが示されています。教員の中には、部活動の指導を行いたいという希望をもっている者もおりますので、教員が指導に当たることも地域移行では、視野に入れていきます。

このように運動部活動を地域移行していくことで、生徒たちの活動が保障されることはよいことだと思います。また、生徒たちの選択肢が増え、活動の幅が広がることもよいと思います。教員にとっても、やりたい人は顧問となり、無理をしてまでやる必要がないことは、働き方改革にもつながるはずです。

しかし、課題は山積しています。クラブチームに入ると費用がかかること、生徒が希望するクラブが近くにあるとは限らないことなどです。費用の負担が大きくなると、活動を遠慮してしまうこともあるでしょう。このように経済的な影響や地域的な影響を受けずに、生徒が自分に合った活動を行えるような環境整備を行うことを中学校現場の代表もスポーツ庁に強く要望してきましたが、なかなか進んでいません。来年の中学校全国大会では、クラブチームの参加も認められます。しかし、クラブチームがどの段階で出場するのか決まっていません。競技によって異なると思いますが、備北地区の予選からか、県大会からか、あるいは中国大会からなのかも未定です。これらの課題もありますが、地域移行が進んでいくことは確実です。保護者の皆様におかれましては、今後の動向を注視していただき、学校と保護者や地域の方々が連携しながら進めていく必要があります。全国展開される大きな事業ですので、ともに考え、ともに歩んでいきたいと思っております。そして、生徒たちの夢の実現や活躍の場を奪うことだけは避けたいと強く願っています。



生徒・保護者・地域の皆様へ

# 総領中学校 校長 便り

## 学校教育目標

主体的に学び  
心豊かでたくましい  
生徒の育成

## 育てようとする資質・能力

- ①知識・技能
- ②思考力・表現力
- ③思いやりと協働性
- ④学びに向かう主体性

令和4年

7月27日(水)

総領中学校長

No.5

## 1学期終業式式辞から

早いもので、もう7月が終わろうとしています。

皆さんにとってどんな1学期でしたか。私にとっては、総領で2回目の1学期を過ごし、少し慣れてきたかなという感じです。

さて、今年の梅雨は異常に早く終わり、4年前の西日本豪雨とは全く違う様相を呈しています。当時、我が家はハザードマップ上では、レッドゾーンに位置し、なおかつ激しい雨が続いたため、土砂崩れを警戒し、迷わず家から離れました。ところが、家から50mくらい進み、国道に出て福山方面に向かおうとしたら、川が氾濫しており、前にも後ろにも行けなくなり、とても怖い思いをしたことを鮮明に覚えています。今年は、逆に深刻な水不足になると思いきや、ここまで雨が降ったりやんだりのどんよりとしたはっきりしない日が続いています。

他方、世界ではウクライナ情勢が長引いており、それに伴って、食料品やガソリンをはじめ、物価が軒並み上昇し家計を苦しめています。また、この戦争に関して、各国の利害が絡んで足並みがそろわず、平和が一層遠のいている気さえます。

元気の出る話ではありませんが、こうした世界情勢は常に関心を持ってほしいのです。

報道番組を見れば、多くのジャーナリストや専門学者が様々な考えや意見を言っています。私は、そのことを聞いて自分が分かった気になるのではなく、「何でそう言えるのだろう」「なぜ、そんな思いに至るのだろう」と考えるようにしています。

広い視野に立って、常に人間の尊厳や倫理観等を柱にして物事を考えていくことは、身近な課題や問題を解決していく原動力になっていくと思うのです。

少しゆとりのある長期休業中だからこそ、ニュースや新聞などを見て、疑問に思ったり、分からなかったりしたことを調べてみることから始めてはどうでしょうか。

さて、明日から皆さんにとっては待望の夏休みとなります。どうか有意義な時間を過ごしてください。

そして、夏休みに入るに当たって2つ約束してほしいことがあります。よく聞いてください。これから伝えることは昨年とほぼ変わりません。

1つ目は、命を大切にすることです。

誰一人、事件・事故に巻き込まれることなく、始業式には必ず元気な姿で登校してください。特に、スマホ・インターネット等の使用には十分気をつけてください。どんなことがあっても、SNS上で知り合った人に会いに行っては絶対にいけません。

SNS上で話が盛り上がり、実際に会いに行くと、「女性と名乗っていたら男性、中学生・高校生だと言っていたけど、大人だった」というのは実際にある話です。

言葉巧みに相手の心理をついて、誘ってくるのです。こうした危険を防ぐには、そういうアプリ

をインストールしない、ネットに深く入り込まない、そして使わないことです。

一方で、大人から「あれダメ」「これダメ」ばかり言われ続けると嫌気がさすというのもよく分かります。実際、これからの生活でスマホやインターネットを使わないというのは無理な話です。だから「どううまく活用するか」そして、「ほどほどに」ということではないでしょうか。

家族とその辺りのことをしっかり話し合っ、危険なアプリを入れない、スマホやゲームに振り回されない夏休みを送ってほしいと思います。

命に関してもう一つ、それは川で絶対に遊ばないということです。

この事は、小学校のときから注意されてきたと思いますが、改めて中学校でも注意しておきます。自分だけは大丈夫と思いこむのは大変危険です。川は皆さんが思っている以上に危険な場所です。

2つ目は、家の手伝いをするという事です。

これも昨年と変わりありません。皆さんは、生徒である前に、家に帰れば家族の一員です。

子供であり、きょうだいがいれば、兄であり、姉であり、妹であり、弟です。

家庭において、例えば、食事は毎日のことです。その食事は誰が準備していますか。皆さんは、これまで、「宿題があるから」とか、「ご飯の準備は大人がするもの」だとかで、親任せにしてきませんでしたか？

今までご飯を炊いたことがないという生徒はこの休み中に是非炊いてみてください。

簡単です。機械が炊いてくれます。その簡単なことですら、やってみると家族の一員としての有用感をもつことができます。有用感とは、役に立ったとか、やってよかったな、と思える気持ちです。

普段しない手伝いをすることで、自分が知らなかった家族の一面が分かるようになったり、見えるようになったりします。是非、取り組んでみてください。

これからの日常生活も自分で判断し行動することが多々あります。その判断の基準になるもの、迷った時の判断基準になるもの、それは、「自分のためにもなり、家族（周りの人）のためにもなるかどうか」で判断・行動してください。

終わりになりますが、

長引くコロナの中だからこそ、見えてくる人間の風景はたくさんあります。

感染症と懸命に闘う人。その命を救うために医療に懸命に従事する人。生活が厳しくても家族のために踏ん張っている人。傷付いている人を支えようとしている人。人を傷付けまいとする人。目の前にある課題や苦しさを突破していこうとする人たちへの尊敬と学びは、皆さんの胸の中に、あなたの成長として入ってくるだろうと思います。

明日から夏休み。多くの尊敬すべきことを目撃して、それに学んで、自分自身の在り方に照らしながら、二学期を迎えてもらいたいと願っています。



※生徒の皆さんへ…少し難しい言葉が入っています。読み方や意味を必ず調べましょう。

広島県人は、放つとけん人。「地域の子どもは、放つとけん！」「暗い夜道は、放つとけん！」

広 報  
**総 領**

発 行  
庄原警察署  
総領駐在所  
88-2232  
木元 雅治

**スマホであなたに”オトモ”する 広島県警察安全安心アプリ  
「オトモポリス」～あなたとあなたの大切な人を守ります**

オトモポリスは、犯罪、不審者、交通事故、特殊詐欺の情報をマップで公開しています。身近なエリアで起こっている犯罪などを確認して、防犯対策にお役立てください。

☆防犯に役立つ情報を多数掲載

☆痴漢撃退機能や防犯ブザー機能搭載

☆子供や女性の安全を守るための情報も充実

詳しくは県警ホームページをチェック！



**駐在所員の独り言**

庄原市で特殊詐欺被害が発生しました。手口は、「警察官を名乗る犯人が偽札の取り締まりをする」という手口です。

その他にも詐欺の手口は色々なものがあり、犯人はあの手この手で皆さんを騙してきます。

皆さん、「私は大丈夫」と思っていませんか？騙される人はみんな「私は大丈夫、騙されない」と思っていますよ。

他人事ではなく、「もしかしたら私も危ないかも」と思ってください。

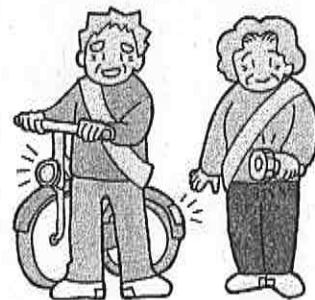
「お金の話は詐欺」です、皆さん気をつけてくださいね。

**高齢者の交通事故防止**

令和3年に発生した県内の交通事故死者数の半数以上を65歳以上の高齢者が占めており、特に夕方・夜間に歩行中の高齢者が車と衝突する交通事故が多発しています。

・LEDライト・反射材用品等を活用して、自分の存在をアピールしましょう。

・横断前や横断中にも、しっかりと左右の安全を確認しましょう。



**管内の事件・事故発生状況**

区分		6月末現在	前年同期比
事 件	刑 窃盗犯	18件	+11件
	法 その他	19件	-6件
	犯 合計	37件	+5件
	特殊詐欺	0件 0万円	-2件 -400万円
事 故	人 身 事 故	9件	-2件
	死者	1人	-2人
	負傷者	8人	-1人
	物損事故	368件	-5件

YouTube アカウント  
広島県警察【公式チャンネル】を見てね！

**反射材活用  
促進動画**

この動画を見れば、反射材の効果が良くわかります。薄暮時間帯や夜間には反射材を活用しましょう。

